

(21) 経営工学教育における授業モデルの検討

経営工学教育FD/ICT活用研究委員会は、7月、9月、12月、23年3月の4回開催した。

経営資源を有効に活用するための科学的手法を身に付けさせる授業デザインとして2例とりあげることにした。

一つは、具体的な問題に対して問題解決のプロセスを適用し、適切な手法を用いて解を導くことができる能力を身に付けさせるために、模擬工場による演習を通じて作業体験をさせる中で、グループ学習やLMS上でのディスカッションなどを通じて様々な課題や失敗から学ぶ授業モデルとした。

二つは、実際の生産物流サービスなどのプロセスを事例に、システムの分析、改善・設計、評価などを行い、システムの生産性の向上を実践できる能力を身に付けさせるため、課題の設定、関連情報の収集・分析を行わせ、グループ学習を通じて多様な解の探求を行わせ、その結果をWeb上で公表し、学外からの意見を踏まえた振り返り学習を行う授業モデルとした。